

70年目の
つつじ色



今月のいちおし！

大津つつじ祭り開催
大津町町村合併70周年記念事業
真風涼帆 特別公演
納税通知書を発送します
5月から防災気象情報が新しくなりました

Public Relations
OZU TOWN



▲剣道に出会い、稽古に打ち込んでいた
中学2年生の大村さん



▲長年の活動が評価された剣道有功賞の
賞状。「これを励みにして、これからも
頑張りたい」と意欲を語る。



剣の理法の修練による
人間形成の道である

おおむら いさお
大村 勲さん(大津)

70年以上、竹刀を握り続けてきた大村さん。大津町剣道連盟を組織し約40年、人生のおよそ半分を後進の育成に尽力してきた。「剣道は自己形成の道」。84歳の今も現役で稽古に励む、その情熱と歩みにクローズアップした。

大村さんが初めて剣を握ったのは昭和28年。当時中学1年生だった。70年、下手の横好きだったからこそ、負けたくない一心で続けてこられたのだと振り返る。指導者としては40年。「剣道は自己形成の場」であると、目先の勝敗にとらわれず先を見据えて基本を磨く大切さを説いてきた。昭和50年に町の武道館が建設された際に指導を任せられ、昭和52年には大津町剣道連盟を組織。剣道の普及に努め、これまでに700名近い門下生を送り出してきた。後継者が育っていく姿を見るのが何よりの喜びだ。

70年も剣道を続け、「2025年度全日本剣道連盟剣道有功賞」を受賞するという快挙を成し遂げたのは大村さんのたゆまぬ努力があったからこそ。しかし取材中に「受賞は先輩たちのご指導のおかげなんだ」「剣道を長年続けてこられたのは仲間のおかげだ」と、大村さんは何度も感謝の言葉を口にしていた。受賞の際は100人近い人たちが祝福され、手作りのアルバムやDVDが送られた。大村さんの積み重ねてきた信頼の厚さや感謝を忘れない謙虚な人柄を物語る。

「元氣なうちは剣道を通して町に恩返しをした」と84歳にしてなお、凜とした姿で竹刀を振る大村さん。その歩みは一生をかけて自分を磨き続ける武道の精神を私たちに教えてくれる。

広報 おおづ 2026 6

発行・編集 大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津1233番地
TEL.096(293)3118 <https://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 印刷 印刷株式会社
※広報のおおづは環境に配慮して再生紙と植物インクを使っています。

UD
FONT
易やすぐ読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



大津町の情報
発信はこちら



町ホームページ
防災行政無線の情報は次の電話番号で聞き直すことができます。
☎096(292)9415

こころの声

入庁してあつという間に1か月がたちました。大学4年生を迎えた去年の今頃を思い出します。アルバイトにサークル、学友に恵まれた私ほども充実した大学生活を送ることができました。だからこそ大好きな仲間や先生と過ごすことのできる時間があと1年しかないことに強い寂しさを感じていました。それから1年。私は優しく尊敬できると元気をくれるような先輩や友達に出会うことができました。去年の私に「何も心配することはないよ」と言ってあげたんです。(H・O)